

人間ドックが繋いでくれた夢

ペンネーム：鈴木 麻衣（東京都）

「これから結構大きいなあ」ゆつくりと聞こえた医師の声。「ああ何かあったのかな？」と鎮静剤で朦朧とする意識の中で微かに胸騒ぎを感じたのを覚えていた。しかし、目覚めた時には、初めての大腸内視鏡検査を無事に終えた高揚感が勝っていた。

この検査の数日前、職場の人間ドックの結果を受け取り、便潜血で「D判定・要精密検査」が出ていたのだ。きつと痔だよ？出産するとなりやすいから。大腸内視鏡検査で恥ずかしそうだし…と暫く様子をみようと思っていた矢先、知人から、数日前に大腸内視鏡検査を受けたという近況報告がEメールで送られてきた。痛い？恥ずかしくなかった？と、きつと多くの女性が気にするであろう質問をゴシップ感覚ですると、「鎮静剤を打つから全く痛くないし、露出が少ないショーツを履くので大丈夫。病院もとても良かったよ」と病院のホームページが送られてきたのだった。

私は、このタイミングで彼女にEメールをもらったことの幸運に感謝をしたい。それがなければきつと、精密検査を受けて変な病気が見つかったら怖いとか、子育てや仕事の忙しさ、検査の敷居の高さ、よくある症状だから等、様々な理由をつけて、向き合おうのを先延ばしにしていたらどうから。私は、潜血はやっぱり痔だったよという診断を受けて帰り、家族にも友人にもおもしろおかしく報告するというストーリーをお気楽に描いていた。けれど、私のそれは違っていた。

検査後、暫くして診察室に呼ばれると、医師の目の前のモニターに赤白くつぶつくりと丸い突起物が映し出されていた。そして、医師からは、すぐに切除できる大きさを越えるポリープがあったこと、大きな病院を紹介するので、なるべく早く手術を受けてくださいと告げられたのだ。「手術？私、小さな子供もいるし、仕事もあるし、直ぐになんて無理だよ？」この期に及んでいろいろな言い訳が頭をぐるぐるしている私に医師は慎重に告げた。「悪いものである可能性も否定できません。〇〇病院はどうですか？」聞いたことがある大きな病院であったことも、ただ事ではないのだということが突き付けられ、現実世界から意識が遠のくような不気味な感覚に襲われた。

そこから私の行動は早かった。翌日には仕事に遅刻の連絡をし、大きな大学病院を受診した。精密検査後、すぐに問い合わせをした上で、翌日朝一番で当日受付をしたのだった。ようやく受診ができたのはお昼近く。その間、不

安に押し潰されそうになりながら、心細い思いで待っていた廊下の景色、午後から出勤して何ごともないような顔を作ってお客様に対応したのを覚えていた。

それから私はおよそ1ヶ月後に手術を受けた。幸い、開腹せずに取りきれるサイズで、内視鏡手術となったが、手術を待っている1ヶ月の間、体の中の得体の知れない物体が大きくなっていかないか、どこかに転移しないのか、もしかして私はこんなにかわいい子供たちの成長が見られないのかと最悪な考えが頭を占拠し、変わらぬ日々を生きながらも、そこは遠いふわふわとした世界を生きている感覚があった。

術後の病理の結果では、大腸ポリープは超初期の癌であった。無事に取り切れ、転移はなかったが、その翌年には、人間ドックで巨大卵巣腫瘍が見つかり、開腹の切除手術を受けた。毎年、子宮頸がん検診を受けていたが、この検査では腫瘍は見つからず、胎児のように巨大になってから初めて発見された。この巨大卵巣腫瘍は手術後の病理検査では良性腫瘍であったが、すぐ脇にあった1cm未満の物体は病理検査の結果、境界悪性腫瘍であった。この小さな腫瘍を見逃がさずに取ってくれた主治医に感謝をしたい。

私は30歳を超えてから毎年欠かさず真面目に人間ドックを受けていたけれど、D判定を受けて命の危機と向き合つてようやく知ったこともとても多かった。大腸ポリープは放っておけば癌化する確率が高いこと。逆に言えば、小さなポリープの段階で切除してしまえばそのリスクがなくなる。子宮頸がん検診だけでは卵巣腫瘍は見つけることはできず、かなり大きくなってから見つかるケースが多いこと。何れも、医療の世界では常識とされていることかもしれないけれど、毎年しっかりと健診を受けているような意識の高い人にも浸透していかないのは残念だと思ふし、ピンクリボン運動のように啓発されれば、より多くの早期発見に繋がるのではないかと思う。

健診により、比較的早期に見つかった病気たち。D判定を放置せず、最短で精密検査を受けたことで大事に至らず、健康を取り戻し、44歳になった今、限りある人生の中でもう一度、夢を追いたいという思いに駆られ、写真の勉強を始めている。命や人生と向き合ったからこそ、飛び込むことができたように思う。自分の一度きりの人生のために、自分を大切に思ってくれる人たちのために、「D判定を恐れず早めの行動を」と私は呼びかけたい。